



図書館だより



NO. 9

2012/01/01

ノートルダム学院小学校図書館

—あけましておめでとございます—



2012年の今年は辰（竜、龍）の年。竜は十二支の中でただ一つ想像上の生き物で、巨大なヘビに似ていて、4本の足があり、2本の角と耳、ひげがあり、空を飛び、火を吐くと言われている。

竜は日本のお祭りによく登場します。

埼玉県鶴ヶ島市の4年に1度の奇祭

「すねおりあまごい脚折雨乞行事」では祭りの後に必ず雨がふると言われています。（8月）

岐阜県下呂市の「たいまつ龍神火まつり」では竜が松明の火の粉を浴びながら元気に舞います。（8月）

長崎市の「じやおど長崎くんち」では龍踊りが勇壮です。10月



龍馬、龍之介のように人の名前にもよく使われます。ノートルダムの友達にも竜輝、龍世、龍平、龍一、竜太郎、龍二、竜弥、竜哉、龍志・・・などたくさんの竜、龍がいます。家族の名前にこめた思いが分かりますね。

「竜」の出てくることわざ

竜は一寸にして昇天の気あり

すぐれているものは、小さな時から普通のものとはちがったところがあること。

竜天に昇る

竜が雨雲に乗って天に登る・・・英雄が機を得て活躍すること

登竜門

立身出世につながる関門のこと

画竜点睛

あることを完成するために、最後に加える大切な仕上げ

竜頭蛇尾

初めは勢いがよいが終わりがふるわないこと。

竜のひげをなで虎の尾を踏む

大きな危険をおかすこと

ほかにどんなことわざがあるか調べてみましょう



—負けるな受験生—

受験勉強ばかりで、なんとなくウツウツ、イライラしてきたらちょっと気晴らしに、こんな本はいかがですか？きっと元気になれるから！

《図書委員からおすすめの一冊》

「エイジ」「きよしこ」重松清 新潮文庫

「テレビのむこうの謎の国」エミリー・ロッド あすなる書房

「The MANZAI」あさのあつこ ジャイブ

「機関車先生」伊集院静 集英社文庫

「未来いそっぷ」星新一 新潮社文庫

「七人の魔法使い」ダイアン・ウイン・ジョーンズ 徳間書店

「おんぶにだっこ」さくらももこ 小学館 ... など

